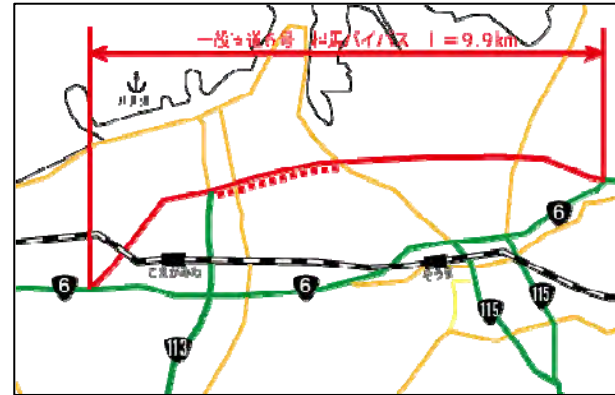
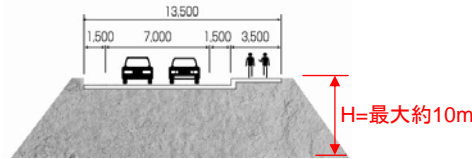


# 津波被害から地域を守った「相馬バイパス」

- ・相馬バイパスの盛土区間が防潮堤の役割を果たし、津波浸水を防止
- ・津波による被害がなかった相馬バイパス西側の水田では田植えを行えた



震災前の相馬バイパス



海岸線

津波浸水エリア

R6 相馬バイパス

3月12日撮影 国土地理院



津波被害を受けなかったバイパス西側では田植えを行えた。

5月26日撮影



バイパス東側の津波被害の爪痕

5月26日撮影

平成23年3月11日の東日本大震災、相馬市にも津波が押し寄せました。国道6号相馬バイパスは、津波を堰き止め浸水被害の拡大を防いでくれました。



相馬市長  
立谷秀清

相馬バイパスは、補修を要する被災があったものの、早期に修復旧(3月18日)し、災害救助、被災地からの瓦礫搬出等に有効に機能した。



修復旧し、通行可能となった相馬バイパス